

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	19072-1	企画展開催費	室名	歴史博物館
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
	施策の方向	02:屋根のない博物館の創出	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 博物館費	

② 目的・概要	対象	市民および亀山市への来訪者
	目的	市民の皆さんが取り組む歴史的風土を生かしたまちづくりの起点となるよう、亀山市の歴史文化に関するさまざまな事象についての最新の調査研究成果の情報発信として、博物館資料を中心とした展示会を開催する。

				24年度	25年度	26年度
③ 指標	①	名称	企画展入館者数	計画値		
		補足	企画展(1回)開催期間中の入館者数	実績値	4,333	3,614
			単位	人	人	
	②	名称	歴史ひろば・自由研究のひろば入館者数	計画値		
		補足	自由研究のひろば開催期間中の入館者数	実績値	2,350	1,387
			単位	人	人	
成果	①	名称	計画値			
		補足	実績値			
		単位				

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績				・第22回企画展「絵図から発見！地域の歴史」50日間 2,824人 ・自由研究のひろば「人と動物のかかわり今昔」38日間 1,828人 総合計 4,652人 (年間入館者数 10,691人)				
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	8,568	平均給与額×③
		国庫支出金		1,543	1,475	一般職員人件費 ②	5,552	
		県支出金				所要人員 ③	0.75	
		地方債				臨時職員人件費 ④	3,016	
		その他				受益者負担額 ⑤	0	⑤ / ⑥
		一般財源		1,543	1,475	受益者負担率	0.0%	
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額			0			
		総人件費		①	8,568			
	総コスト		⑥	10,043				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	開館20周年を記念した企画展は、現存する江戸時代の村絵図から、村で起こった当時の出来事を探り、現在の町との変化などにも注目したところ、市内のお客様の反応が大きかった。また、自由研究のひろばでは、市域の動物と人とのかかわりを歴史の中から見つけ、現在も続く動物と人とのかかわりにも言及した内容で、夏休みの宿題を供することができた。	総合判定	A
	【反省点・課題】	村絵図は、特に地元身近なものであり、市内のお客様の反応が大きかったことから、更に村絵図の所在確認を進めていき、新たな資料として保存していくこと、また、展示に活用していくことが必要である。絵図は彩色されているので、資料保護の立場から照明が暗くなることから、お客様から照明を明るくするよう要望がある。	順調に進んだ	
	【改善の方向性】	LEDなど照明器具も進化しているため、お客様のニーズに応え、さらに資料保護にもなるような照明の工夫をしていく。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 歴史博物館長 小林 秀樹	